

## 05 疑似クラス

---

リンクは、そのリンク先を見る前と見た後では色が変わるのが一般的です。  
特に指定が無い場合、まだ見ていない状態のリンクは青、すでに見たリンクは紫になっています。  
CSSでは、要素の状態の変化に合わせた表示指定が可能となる「疑似クラス」が用意されています。

- `:link`

リンク先のページをまだ見ていない（キャッシュされていない）状態のときに適用させるセレクタです。

- `:visited`

リンク先のページをすでに見た（キャッシュされている）状態のときに適用させるセレクタです。

- `:hover`

要素の上にカーソルがある状態のときに適用させるセレクタです。

- `:active`

リンクをクリックした状態（マウスのボタンを押している状態）のときに適用させるセレクタです。

※上記の4種類の状態の中には、同時に起こり得るものが含まれています。  
たとえば、「リンク先をすでに見た状態」と「カーソルが上にある状態」、「リンクをクリックした状態」は同時に起こります。  
上記の場合は、最後に指定されている表示指定だけが有効になってしまいます

例えば、「カーソルが上にある状態」の後に「リンク先のページをまだ見ていない状態」と  
「リンク先をすでに見た状態」の表示指定があった、「カーソルが上にある状態」の表示指定は常に上書きされてしまい、  
有効になることはありません。

上記のようなトラブルを回避するために、常に上の例で示した順序で指定するようにしてください。